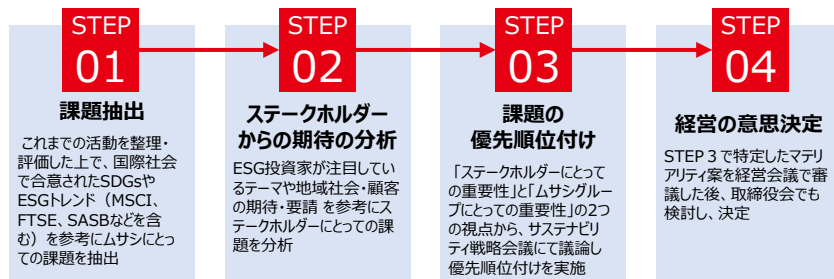


■ マテリアリティの特定

事業環境、社会環境の変化に応じて適宜マテリアリティの見直しを実施しています。
「ムサシフィロソフィー」を基軸に、ムサシに何ができるのか、どの分野に注力すべきか、また企業として果たすべき責任は何であるのかを分析し、経営上の重要課題（マテリアリティ）を特定しています。特定に際しては、社会課題の解決にむけたムサシの価値提供、社会責任を果たすために注力すべきことの双方向で行っており、SDGsやSASBなど（ESG開示基準）にあげられるような国際的なガイドラインや基準、及びステークホルダーとの対話から得られたご意見を取り入れています。

社会からの期待と要請を踏まえ、バリューチェーンを含む事業の特性を考慮しながら優先テーマ選定することで、ステークホルダーとの共通理解を深め、サステナビリティへの取り組みを効率的に推進していきます。



重要課題

ムサシの取り組み

サステナビリティの発想となるSDGsテーマ

気候変動・エネルギー管理	Musashi GX(グリーン戦略の推進) 当社が創業100周年を迎える2038年までに事業活動（*1）でのカーボンニュートラル（グリーンオペレーション100）、2050年までにバリューチェーン全体のカーボンニュートラルの実現を目指します。全ての事業活動を対象に、省エネ化や再生可能エネルギーの利用拡大などの取り組みを価値に変えるグリーン戦略を策定・実行します。
電動化の推進	強いコア事業の確立、新規事業の創出 電動化の機会をとらえたコア事業の拡大と収益性の向上に取り組みます。QCD+E（品質、コスト、デリバリー＋環境）の観点で最適なものづくりを追求していくとともに、将来を担う新技術の仕込みや、オープンイノベーションによる新規事業の創出にも取り組みます。当社の得意技術を活かした電動車向け商品の競争力強化・ラインナップの拡充に加え、既存商品の稼ぐ力を継続的に高めることで、電動化時代のキーデバイスサプライヤーとしての成長を目指します。また新規事業領域においては、社会課題の解決に貢献できる事業の創出に取り組んでいます。
資源の効率利用	
サプライチェーンマネジメント	
製品・サービスの品質・安全	強靱な品質体制の構築 開発から量産に至るプロセスを通じて商品の品質を評価、保証する仕組みを構築することで、お客様の信頼を頂ける生産・供給体制を維持しています。
業務プロセス高効率化/データ活用	Musashi DXの実現 デジタル技術を活用した業務の標準化、自動化、最適化により業務プロセスを高効率化し、さらにデジタル化されたプロセスの中で蓄積されるデータの利活用により、新たな価値の創出にも挑戦します。新たな時代の成長基盤となるデジタル前提の企業文化構築を進めています。
人的資源開発	ムサシフィロソフィーの体現、ビジョンへの挑戦 ムサシ100年ビジョンのグローバルでの実践に向けて、将来を担う高いスキルを持ったプロ人財や、新しい働き方で価値を生み出す自律人財の育成を目指しています。全ての活動の基軸であるムサシフィロソフィーについて、階層別の期待行動を具体化し、実践のための教育プログラムの整備やそれに連動した人事評価制度のしくみを導入することで、各個人が能力を高め、発揮し、活躍できる環境・企業文化づくりを進めています。
健康/労働安全衛生	
ダイバーシティ	
コンプライアンス	リスク管理のしくみを強化 「社会に必要な企業」を目指し、サステナビリティを巡る社会課題に適切に取り組むべく、コーポレートガバナンス体制を構築しています。適切な情報開示と社会との対話を通じ、ガバナンス、コンプライアンス、リスク管理のしくみを強化し、将来にわたる継続的な成長と企業価値の向上を目指します。
ガバナンス	

